



K121.82

17

1

No 9968

白山健著

卷一

# 小學作文指南

松木氏藏版

小學作文指南

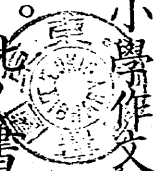
凡例

此書ハ尋常小學科ノ作文教授用ノ爲ニ編纂シタル者ナリ。

此ノ書ハ全篇四冊ト爲シ。一冊一年ノ教授用ニ充ツ。

此ノ書ハ殊ニ文典語格上ヨリ作文ヲ教フルヲ目的トセリ。

一。各課ノ教授法ハ其ノ中ニ上ゲタレバ教師ハ



凡例

先ツ能ク之ヲ熟讀シテ活動アル教育ヲ授ケ  
ンコトヲ望ム。

明治廿一年五月

編者識

小學作文指南卷之四

目次

- 第一課 單語
- 第三課 單語 濁音
- 第三課 單語 次清音
- 第四課 單語 假字遣
- 第五課 單語 拗音促音
- 第六課 短ノ短句
- 第七課 短ノ短句
- 第八課 短ノ短句 拗音促音ヲ接
- 第九課 短ノ短句 拗音促音續
- 第十課 附屬形容詞
- 第十課 附屬形容ノ附キタル
- 第十一課 名詞ヲのニテ接續ス
- 第十二課 短ノ短句ヲ接續ス
- 第十三課 附屬形容詞ヲ直ス
- 第十四課 前課ニ意味ヲ添フ
- 第十五課 前課ニ意味ヲ添フ

第十六課を

第十七課 前課 勸主ヲ加フ

第十八課 勸詞 副詞ヲ加フ

第十九課を

第二十課を

第二十一課 ヲニテ或ハ被勸主ヲ加フ

第二十二課 や

第二十三課 テニテ勸詞ト勸詞ト

第二十四課 で

第二十五課 でニ受勸主ヲ加フ

第二十六課 必

第二十七課 分詞形容詞

第二十八課 否定

第二十九課 否定

第三十課 願望

第三十一課 命令

第三十二課 疑問

第三十三課 數字

第三十四課 被勸

小學作文指南卷之一

畠山健 著

○第一課 單語

此ノ課ハ單語清音ヲ太凡ニ上ゲタレドモ固ト作文ハ讀本ト親密ナル關係ヲ有スルモノナレバ或ハ濁音半濁音等ヲ交ヘ教フルモ妨ダナシ。讀本ノ編成ニ依リテハ清音濁音ヲ區別セズ打チ混ジテ教フル者アリ。是レ畢竟清

音濁音ノ強ヒテ區別シテ教フベキ必用ナキ  
ガ故ナリ。サレバ今コヽニハ普通ノ習慣ニ從  
ヒテ先ヅ清音ノミヲ舉ゲタルモ決シテ之レ  
ニ拘泥スベキニハアラズ。教師ノ都合ト見込  
トニ依リテナホ適宜ノ斟酌ハアラマホシキ  
ナリ。但シ本課中ニ在ル三音語「むぎき」「てほん」  
等ノ如キ者ハ假ヒ濁音ヲ混ジ教フルモ二音  
語ノ後ニシ「も」「ひき」「ふる」「き」等ノ四音語ハ  
三音語ノ後ニスベシ。

左ノ單語ヲ綴レ

イス。ワン。コマ。タコ。カニ。ツキ。ユミ。  
トリ。子コ。ヲケ。セミ。ムチ。  
ハカマ。テホン。クルマ。タヌキ。サシミ。  
ハオリ。モモヒキ。フロシキ。タケノコ。  
ソラマメ。マナイタ。コシカケ。

○第二課 單語 濁音

此ノ課ハ濁音ノ單語ニテ都ベテ注意ハ第一

課ニテ云フ所ノ如シ。

左ノ單語ヲ綴レ

ヘビ。フデ。ゲタ。サジ。サギ。ゼニ。ナベ。  
ガン。ザル。カゴ。ミヅ。  
スズリ。ヒバチ。ドビン。モミヂ。ウヅラ。  
エノグ。サカヅキ。ヤマブキ。セキバン。  
ハクボク。テツビン。コガタナ。

○第三課 單語 次清音

此ノ課ハ次清音ヲ上ゲタル者ナレドモ讀本  
トノ關係ニ依リテ適宜斟酌スルヲ肝要トス。  
故ニ唯ニ完美ヲ欲シテ其單語ヲ多クセズ

左ノ單語ヲ綴レ

パン。ペン。ホン。フ。エン。ピツ。

○第四課 單語 假字遣

此ノ課ハ國語假字遣ノ中ノ至極單簡ナル者  
ヲ教フルヲ目的トス。コレヲ教フルハ容易ナ

ルガ如クニテ甚ダ難シ。何トナレバ五十音中  
相似タル音ノ多キノミナラズ既ニ讀ミ又書  
キ得ル字ヲモ殆ト別音ノ如ク呼ビナスモノ  
ナレバナリ。此ニ注意スベキ一ハ假字ハスベ  
テ語ノ上ナルハ紛ル、一少ナク其ノ中ト下  
ナル時ノ多キ一ナリ。いひ、ぬえ、へ、ゑ、を、は、は、  
わ、ず、づ、ど、ぢ等皆然リ。此ノ課モ讀本ト適宜ニ  
斟酌シテ教フベシ。

左ノ單語ヲ綴レ

カイ。アキ。フエ。モエギ。ツクエ。ツエ。  
ヲトコ。ヲンナ。ウヲ。サヲ。タワヲ。アワ。  
カハ。ニハ。タビ。コビ。イヘ。カホ。  
スミメ。スミリ。ナマツ。ミツ。フヂ。ツ、ジ。

○第五課 單語 拗音促音

此ノ課ハ拗音促音ヲ教フルモノニシテ此レ  
亦讀本ト大關係アル者トス。教授ノ際適宜ニ  
斟酌スベシ。

左ノ單語ヲ綴レ

チヤ。クワシ。キヤク。シヤツ。サウシ。  
バウシ。レングワ。ダイジヤ。イウビン。  
ベンタウ。ガクカウ。ウシドウ。シヨクダイ。  
テウチン。ギヤウギ。ミヤウニチ。コツプ。  
ラッパ。

○第六課 己ノ短句

己ハ對偶接續辭ニテ彼レト此レト相對偶ス

ベキ意ヲ以テ名詞ト名詞トヲ或ハ形容詞ト  
形容詞トヲ或ハ動詞ト動詞トヲ接續スル者  
ナリ。此ニ注意スベキハ每詞ノ下ニ必ずトヲ  
書スベキトス。今ノ流俗ニハ最後詞ノ下ニ  
ハトヲ省ケド其ハ正格ニアラズ。

左ノ句ヲ綴レ

イヌト子コト。カミトフデト。  
スミトスズリト。メトクチト。  
フデトスミト。カミト子コトイヌ



トウマト。

以上名詞ト名詞トヲ接続ス

シロキトアカキト。オホキトスクナキト。  
ヨシトアシト。ハヤキトオツキト。

以上形容詞ト形容詞トヲ接続ス

エクトカヘルト。ヨムトカクト。  
シルトシラヌト。ミルトキクト。

以上働詞ト働詞トヲ接続ス

○第七課 のノ短句

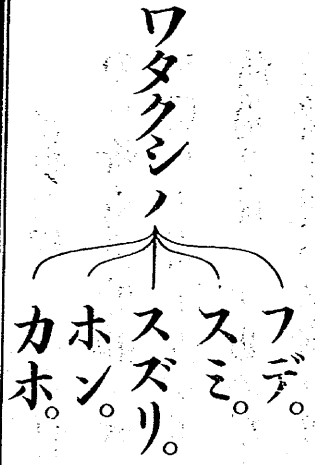
のハ所屬接続辭ト云ヒテ物ノ性質或ハ所屬  
ヲ現ハス者ナリ。いぬのあ。ねまのめ。ナドハ  
所屬ヲ現ハシ。めのひり。まかのいろ。ナドハ  
性質ヲ現ハス者ナリ。實物ヲ以テ生徒ニ能ク  
此ノ意ヲ得シムベシ。

左ノ單句ヲ綴レ

イヌノアシ。子コノメ。キノハ。  
テノエビ。マツノエダ。フデノヂク。

メノヒカリ。ツクユノシタ。ハナノイロ。  
トケイノオト。

次ノ圖ニ附キのノ活用ヲ示シ猶適宜ノ題ヲ  
撰ミテ生徒ニ圖ヲ造ラシムベシ。



○第八課 とニテ拗音促音ヲ接續ス

此ノ課ハ第六課ト異ナルヲナシ。唯接續スル  
者ノ拗音及ビ促音ナルノミ。

左ノ單句ヲ綴レ

チヤトクワシト。シヨグダイト。ラフソクト。  
マツチト。シヤボシト。ヒシヤクト。テヲケト。  
シヤツト。チヨツキト。ラシプト。ホヤト。  
シヤウギト。ゴバシト。シヤウガト。ス年クト。

○第九課 のニテ拗音促音ヲ續ゲ

此ノ課ハ第七課ト同ジ唯其ノ接續スル者ノ拗音促音ナルノミ。

左ノ單句ヲ綴レ

ガクカウノケウシ。ラシヤノキンチヤク。  
テフテフノハ子。ジユバンノツテ。  
アカガ子ノヤクワシ。シヤクヤクノハナ。  
シヨセイノシヨモツ。

○第十課 ハ附屬形容詞

形容詞ノ名詞ノ前ニ在ル者ヲ附屬形容詞ト云フ。事物ノ性質即チ其色澤大小形體等ハ兒童ノ心ニ入り易キ者ナリ。故ニ感覺知覺ヲ養成スルヲ教育ノ第一着歩ト爲セリ。サレバ之レヲ言語ニ云ヒ現ハスモ亦教育ノ第一着歩タラザルベカラズ。故ニ兒童ヲシテ事物ノ性質ヲ精密ニ謂ハシメ之ヲ文字ニ現ハシテ一層ノ精密ヲ得シムルハ初歩ノ教育ニシテ又

必要ナルモノナリ。故ニ附屬形容詞ヲ此ニ上  
ゲタリ。附屬形容詞ニ三種アリ。きニテ終ル者  
一きニテ終ル者及ビあるニテ終ル者是レナ  
リ。前三種ハ皆純然タル和語ニシテあるニ終  
ル者ニハクニテ終ル和語ト漢音トアリ。此ノ  
事ハ其ノ語ニ付キ生徒ニ大凡ノ觀念ヲ得シ  
ムベシ。但シ餘リニ説明ヲ爲シ過グルハ及リ  
テ宜シカラズ。  
通俗ニハきハクニ轉ジふるハハニ轉ゼリ。き

ノイニ轉ジタルハ音便ナリ。あるノあニ呼ベ  
ルハるヲ畧シタルナリ。此ノ事モ生徒ニ理會  
セシメンコトヲ要ス。左ノ題例ニハ皆通俗語ヲ  
添フ。

左ノ單句ヲ綴レ

アカキ<sup>い</sup> ホン。クロキ<sup>い</sup> イタ。ナガキ<sup>い</sup> ホウ。  
ミジカキ<sup>い</sup> サヲ。ヒロキ<sup>い</sup> ニハ。セマキ<sup>い</sup> ヘヤ。  
スズシキ<sup>い</sup> カゼ。アタタカキ<sup>い</sup>。テシキ。  
ウレシキ<sup>い</sup> カホ。カナシキ<sup>い</sup> コエ。

シヅカナルヨル。サヤカナルツキ。  
キレイナルネコ。

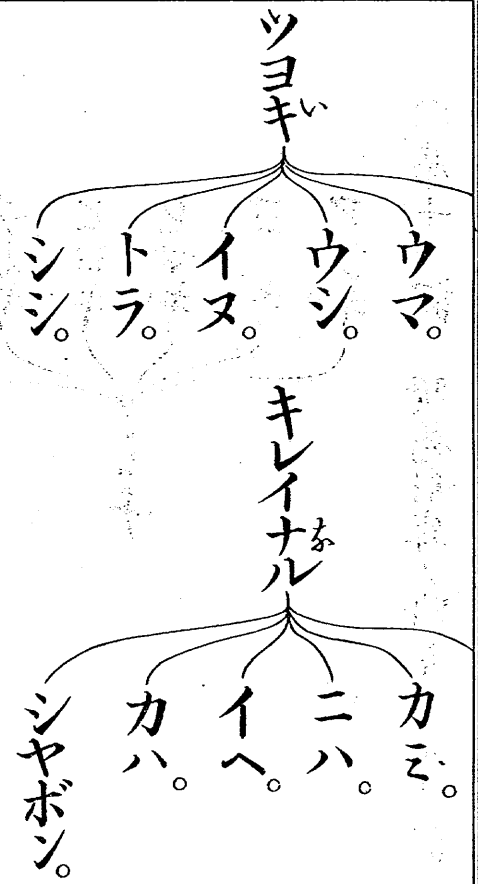
次ノ第一圖ノ如ク一ノ形容詞ヲ與ヘ之レニ  
數多ノ名詞ヲ附セシメ又第二圖ノ如ク一ツ  
ノ名詞ヲ與ヘ之レニ數多ノ形容詞ヲ添ヘシ  
ムベシ。

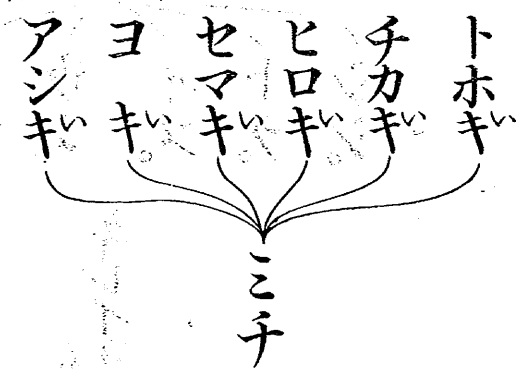
第一圖

ヒト。

ホン。

第二圖





○第十一課

附屬形容ノ附キタル名詞ヲ

のニテ接續ス。

のハ所有ヲ現ハス他ニ又所屬ヲ現ハストハ  
 前ニ云ヘリ。其ノ附屬ヲ現ハス時ハ其用稍形  
 容詞ニ同シ。此課ハ所屬ニテ形容詞ニ類スル  
 一ヲ教ヘ以テ前々ノ諸課ヲ一層進ムル者ナ  
 リ。

左ノ例題ヲ以テ生徒ニ單句ヲ綴ラシム  
 ベシ。

タカキ ヤマノキ。

オツロシキクマノエ。  
オホキナイヌノアシ。  
タイセツナホシノツツコ。  
ケツコウナニハノマツ。

○第十二課 とニテ附屬形容詞ヲ有スル  
單句ヲ接續ス

此ノ課ノ教授法ニ二様アリ。一ハ先ツ一物ニ  
附キテ其ノ性質ヲ生徒ニ云ハシメ之ヲ附屬

形容詞ニ現ハサシメテ單句ト爲シ更ニ他ノ  
一物ニ附キ其ノ性質ヲ云ハシメテ之ヲ附屬  
形容詞ヲ有スル單句ト爲シ此ノ單句ト單句  
トヲ結續セシムル者ナリ。一ハ二物ヲ示シテ  
之レヲとニテ結續セシメ次ギニ其ノ各物ニ  
各其ノ性質ヲ添ヘシムル者ナリ。此ノ二法ノ  
中第一方ハ始ニ教ヘ第二法ハ後ニ教フベシ。  
但シ之ヲ後ニ爲シタリトテ決シテ忽ニハス  
ベカラス。

左ノ設題ニ依リ生徒ニ單句ヲ綴ラシム  
ベシ。

ホツキフテトアツキホント。  
タカキヤマトヒクキタニト。  
シロキ子コトクロキイヌト。  
オホキナルチヤワシトチイサナルハシ。  
キレイナルハナトリツパナルマツ。

○第十三課 附屬形容詞ヲ文ニ直ス。

此課ハ名詞ノ格ヲ教フル第一着歩ナレバ注  
意スベシ。先ツダヨリ始ム。ガハ主ノ働ヲ單ニ  
現ハス者ナリ。名詞ノ附屬形容ヲ轉倒シテ文  
ト爲スニ當リテ必ず先ツダノ靈辭ヲ用キシ  
ムベシ。妄ニハヲ用キシムベカラズ。尤ハ區別  
ノ文字ナレバ二個以上ノ事物或ハ觀念ノ相  
對シタル上ニアラザレバ用キザルナリ。其ハ  
後ニ説ク所ヲ參考セヨ。

左ノ設題ニ依リ生徒ニ單文ヲ綴ラシム



アカキ ホシ。 やんが あかい。  
クロキ イタ。 いたが くるい。  
オモキ イシ。 いしが たもい。

以上變化ノ例。以下設題。

カゼ ガ スズシイ。  
アツビ ガ オモシロイ。  
コエ ガ カナシイ。  
子コ ガ オホキイ。  
ハナガ キレイダ。

○第十四課 前課ニ意味ヲ添フ

此ノ課ハ前課ニ所屬ノの或ハ性質ノのヲ加  
ヘテ其意ヲ添フル者ナリ。此ノ課ヲ教授スル  
ハ左ノ例題ニ付キ次ニ舉グル例ノ如ク先ツ  
附屬形容詞ヲ文ニ直サシメ之レニのヲ加ヘ  
テ其ノ意味ヲ精密ニスベシ。都ベテ之ヲ爲ス  
ニハ種々ノ事物性質ヲ談シ或ハ之ヲ示シテ  
充分ニ生徒ノ觀念ヲ起サシムルヲ要ス。

○設題

タカキマツ。(原題)

きが たりい。(一變)

やまのきが たりい。(結果)

ナガキボウ

やうが ながい。(一變)

たけの やうが ながい。(結果)

次ノ附屬形容詞ヲ文ニ直シ且言葉ヲ加フベシ

キレイナル ミツ。

オホキナル ブンゴ。

ホソキメ。

ナガキヲ。

セマキ ミチ。

ヒロキ ウンドウバ。

○第十五課

此ノ課ハガノ靈辭ト働詞トヲ接續シテ文ヲ

爲ス者ヲ教フルヲ目的トス。

○設題

トリガナク。      ハナガサク。  
 ハチガサス。      コドモガタツ。  
 イヌガマツ。      トリガトブ。  
 ハチガスフ。      ヲシナノコガヨム。  
 ヒガキユル。      ヒガモユル。  
 コドモガベンキヤウスル。  
 セイトガウシドウスル。

○第十六課を

をニ連ル勸詞ハウツリユキ勸詞ナリ。不<sub>レ</sub>んを  
 よむ。トをうくヲあめがふる。ウゼがふる。ニ比  
 較セヨ。前者ノ主不<sub>レ</sub>ん及ビトハ讀マル、者書  
 カル、者ナリ。故ニ第十五課ハ主ノ勸ク者ナ  
 レドモ此課ハ主ガ勸ヲ受クル者ナリ。此ノ事  
 ハ能ク注意シテ生徒ニ教フベシ。

○設題

クサヲカル。      ホンヲヨム。  
ミヅヲノム。      エシピツヲケヅル。  
ジヲカク。      クルマヲヒク。  
ミヅヲスフ。      ニクヲクラフ。

○第十七課 前課ニ働ノ主ヲ加フ。  
此課ハ第十六ト第十七トヲ合セタル者ナレ  
バ單簡ナルガ如シト雖此ニ働ク者働カサ  
ル、者ト働詞ト具リテ完全ナル文ヲ爲セリ。

此ノ課ノ教授ニ二様アリ。何レモ能ク熟セシ  
ムルヲ要ス。一ハ先ヅわんをよむト教ヘテ次  
ニわたくしがト加ヘシムル者。一ハ先ヅわ  
たくしがよむト書カシメテ次ニわんをト加  
ヘシムル者ナリ。

○例題。

ホンヲヨム。(第一法)  
わたくしがわんをよむ。  
センセイガカク。(第二法)

せんせいがつとをかく。

○設題

子コガ 子ヅミヨトル。  
ウマガ ガクルマヨビク。  
ハチガ ミツヨスフ。  
トリガ ソラヨトフ。  
イヌガ ヒトヨマツ。  
ヒトガ クサヨカル。  
コドモガ エソビツヨケヅル。

○第十八課 働詞ニ副詞ヲ加フ

此ノ課ハ前課ノ働詞ニ副詞ヲ加ヘテ形容シタル者ナリ。此ノ課ニ於テハ働詞ヲ形容スル詞ナルヲ精シク教フルヲ要ス。先ヅみちを  
あゆむト教ヘ次ニ如何様ニ歩ムカト問ヒテ  
其詞ヲ加ヘシムベシ。

○例題

こちヲアユム。

みちをいづかよあゆむ。

ホシヲヨム。

ほんをはやくよむ。

○設題

ジヲキレイニカク。

エシピツヲホソクケツル。

ヤマガトホクミユ(ル)。

カミヲアカクヌル。

スミヲコクスル。

カゼガハゲシクフク。

アヌガソヨクフル。

○第十九課

○第十九課  
たハ偶對靈辭ト稱シテ三個以上ノ事物或ハ  
觀念ヲ相對シテ此ハ斯ク又彼ハ斯ク  
トト區別スル時ニ用ヅル者ナリ。假ヒ現ニ書  
キタル所ハ一人ノ事物或ハ觀念ナルモ隱然他  
ニ之ト相對シテ比照區別スル者アルナリ。

でいんぞい。やんはあついで云フ時ハ筆ト本  
ト相對シテ其ノ性質ノ同ジカラザルヲ示ス  
者ナリ。此ハ論理學上所謂ル種中ノ差違ヲ現  
ハス者ナレバ教師ガ注意シテ實物ヲ示シ或  
ハ充分ニ觀念ヲ起サシメテ其ノ他ト異ナル  
所ヲ現ハスノ用タルヲ教ヘンヲ望ム。

○設題

フデハホツシ。 ホシハアツシ。  
タマハマロシ。 ボウハナガシ。

ヤマハタカシ。 タニハヒクシ。  
アナタハユク。 ワタクシハカヘル。  
イヌハオフ。 子コハニグル。  
ユキハシロシ。 スミハクロシ。  
ナツハアツシ。 フユハサムシ。

○第二十課

よノ靈辭ハ働ノ到着スル所ヲ現ハス者ナリ。  
りみよかくいぬよやる。如ク何レモ「く」や

るト云フ働ノ到着スル目的ヲ現ハセリ。俗ニ  
ハヨヲ恰モトト同シク用ルアリ。假ヘバ  
ぬとねことト云フベキ所ヲいぬよねことト云  
ヒ。かみとみでとト云フベキ所ヲかみよみで  
ト云フガ如シ。此ハ流俗ノ誤ニテ嚴ニ正サ  
ルベカラズ。次ノ課ニ至リテ斯ク流俗ニ誤ヲ  
生ジタル所以ヲ説クベシ。此ニハ精シクハ  
働ノ到着スル所ヲ現ハス者ナルトヲ實事ニ  
徴シテ教フルヲ要ス。

設題

ガクカウニユク。ウチニカヘル。  
カコニカク。イヌニヤル。  
ミヅニナガス。ドブニスツ。  
ヤマニノボル。タニニクダル。  
クルマニノル。イスニカル。

○第二十一課 よニ主或ハ被働主ヲ加フ  
よハ前課ニ云ヘル如ク働ノ歸着スル所ヲ現



ハス者ナリ。此ノ課ニ教フルハ其ノ働ノ主ヲ加フル者ナリ。主ニ二種アリ一ハ働ヲ爲ス主一ハ働ヲ受クル目的ナリ。わたくしハかくかうよゆくト云ハゞ主(わたくし)ハ働ノ主ナリ。かみよどをかくト云ハゞ主(下)ハ働ヲ受クル目的ナリ。此ノ働ヲ受クル目的ヲ一タビ誤レバ流俗ノ誤ヲ來スナリ。假ヘバかみよどをかくト云フヲ畧シテかみよどト云ヒきやくよちやをだすと云フヲ畧シテきやくよちやト

云フハ上ノ詞ニ下ノ詞ヲ添ヘタルニテ下ノ詞ハ働ヲ受クル目的ナルナリ。サルヲ通俗ニハ誤リテよフト同様ニ使ヒ居レリ。嚴ニ正スベシ。都ヘテ觀念ノ精密ト言語ノ精密トハ伴ヒ來ル者ナレバ此ノ邊ハ兒童ノ思想中ニ精密ナル區別ヲ與ヘ置カンフヲ要ス。且下ニ附ク働詞ハ普通言ヲ主トシ正格ノ者ハ之ヲ左ニ平假名ニテ記シ置ケリ。

○設題

カミニジヲカク。イヌニクヲヤル。  
 フデニスミヲツゲル。  
 ミヅイレニミヅヲイレル。  
 チヤワシニチヤヲツグ。  
 ニハニマツヲウエル。  
 シヨクダイニラフソクヲタテル。  
 アナダハガクカウニユク。  
 ワタクシハウチニカヘル。  
 アナタハジヲカミニカク。

ワタクシハニクヲイヌニヤル。

○第二十二課 や

やハ呼ビ出シノ靈辭ニテ數多アル中ヨリ此  
 レヨ彼レヨト呼ビ出シテ接續スルニ用キル  
 者也。俗ニやらト云フモ此ノヤト同ジ様ニ使  
 フハ誤ナリ。やらハやらんノ下畧ニテ疑問ナ  
 レバ別ナリ。又此ノヤハ所謂強辭ナレバ多ク  
 ノ物ノ中ニモ其重ナル者一二ヲ舉ゲテ云フ

時ハ自然其ノ外ニ尚殘レル物ノアルヲ知ラ  
ル。然ルニ流俗ニハ此ノ區別ナクト一様ニ  
使フアリ。假ヘバ此ニシヤツトチヨツキト唯  
ニツアル時ニシヤツトチヨツキト云フベキ  
ヲシヤツヤチヨツキト云フ甚ダ誤マレルナ  
リ。シヤツチヨツキ、ズボン、クツ、マンテルナド  
數多ノ物アル時ニ其ヲ盡ク數ヘ上ゲンノ  
繁雜ナレバ取り總テシヤツヤチヨツキトハ  
云フナリ。能ク此ノ意ヲ實物ヲ以テ生徒ニ理

會セシムベシ。若シ然ラズシテ流俗ニ任ズル  
時ハ言語ハ漸ク亂レ從ヒテ觀念ノ精密ヲ得  
難シ。

○設題

フデヤ スミヤ カミヤ。  
ウマヤ ウシヤ 子コヤ イヌヤ。  
ウメヤ サクラヤ モモヤ ツバキヤ ボタンヤ。  
ボウシヤ クツヤ カサヤ ゲタヤ。  
ドビンヤ チヤワシヤ コツプヤ チヨツヤ。

ミツヤ アブラヤ サケヤ ミツヤ。

○第二十三課 又。てニテ勸詞ト勸詞トヲ連

此ノ課ハ勸詞ヲ以テ勸詞ヲ形容スル者ニシテ其ノ形容勸詞ハ副詞ニ當ルナリ。即チ勸詞ノ様ヲ形容スル者ナリ。かけてゆくト云ハミかけてハゆくヲ形容シ其ノゆく様ヲ現ハス者ナリ。此ニ注意スベキハ正格言ノきハ俗語

ノイトナリ。ちりひハつトナリ。びトみハントナレルコトナリ。

カケテ ユク。 イツギテ ヨム。

タチテ アユム。 スワリテ コル。

クニテ<sup>ん</sup>ノム。 トビテ<sup>ん</sup> オ(リ)ル。

子コヲ オビテ ユク。

ワタクシハ カケテ ユク。

アノビトハ ヨ<sup>ん</sup>ニテ<sup>ん</sup> 井ル。

イシダンヲ トビテ<sup>ん</sup> オ(リ)ル。

ホシヲスワリテヨム。  
ミツヲクミテノム。  
ニラウハイソギデウチヘカヘル。  
アノオシナノユハタスキヲカケテ  
ハタラク。

○第二十四課 で

でハよてノ約ニテ漢字ニテハ「ヲ」以テ「及」ビ「ニ」  
於テト云フ所ナリ。此ノでハ前課ニ在リタル

とんでよろこんでトハ同ジカラズ。よて  
ノ約ナレバ常ニ名詞ニ連ル者ナリ。能ク此ノ  
差別ヲ教フベシ。

ホウキ<sup>ホウキ</sup>デ<sup>テ</sup>ハク。 フデ<sup>フデ</sup>デ<sup>デ</sup>カク。  
メ<sup>メ</sup>デ<sup>デ</sup>コル。 ミ<sup>ミ</sup>コ<sup>コ</sup>デ<sup>デ</sup>キク。  
ハナ<sup>ハナ</sup>デ<sup>デ</sup>カグ。 クチ<sup>クチ</sup>デ<sup>デ</sup>イフ。  
ソト<sup>ソト</sup>デ<sup>デ</sup>アツブ。 ナベ<sup>ナベ</sup>デ<sup>デ</sup>ニル。

○第二十五課 でニ受働主ヲ加フ

此ノ課ハ前課ニ受働主ヲ加フルノミ。

メデモノヲミル。ここデオトヲキク。  
ハナデニホヒヲカク。クチデモヲクラフ。  
ホウキデゴミヲハク。フデデジヲカク。  
ヒデシヨクモツヲニル。キモノデササヲシグ。

○第二十六課 も

もハ合セ取ル靈辭ナリ。どトハ同ジカラズ。ど  
ハ唯對偶ヲ現ハスノミ。もハ此モ彼モ其モト

合セ取り込ム意ナリ。此ノ區別ハ實物ヲ以テ  
能ク理會セシムルヲ要ス。

イヌモ ウマモ ウシモ ケモノナリ。  
コヒモ フナモ タビモ ヒラメモ ウヲナリ。  
スズメモ カラスモ トビモ タカモ トリナリ。  
コノコモ アノヒトモ テニツエヲモツ。  
カニモ スミモ キリモ コガタチモ カバシニイレタリ。  
ワタクシモ アノヒトモ ガクカウノセイトデアル。

○第二十七課 分詞形容詞

此ノ課ハ働詞ヲ以テ形容詞ト爲シ名詞ヲ形容スルニ用キタル者ナリ。此ノ課ヲ教フルハ先ツ名詞ト働詞トヲ連ネヒトゆくとりとぶト云ヒ更ニ之ヲ轉倒シテゆくひととぶとりト爲サシムベシ。又過去分詞よんだほんふとつたごども等ノ如キハたるヲ約シタル者ニシテよみたるやんふとりたるごどもト云フベキ所ナリ。能ク之ヲ教ヘンコトヲ要ス。

(第一例) ヒトガユク。

ゆくひと。

(第二例) フトツタ コドモ。

ふとりたるごども。

カヘル フシナ。 トブトリ。

オフ子ゴ。 ニグル 子ツゴ。

ヤケタル イヘ。 サキタル ハナ。

スリタル スミ。 マガリタル コチ。

○第二十八課 否定

否定ノ文ニハ二種アリ爲シ得ル者ヲ爲サズ  
ルト。固トヨリ爲シ能ハサル者ト是レ也。此ノ  
課ハ爲シ得ルヲ爲サズルヲ教フル者ナリ。  
能ク此ニ注意シテ生徒ニ授クベシ。假ヘバニ  
らうハトをりりず、三らうハをんをよまずト  
云フ時ハ。二ロウハ書キ得又ニアラズ。三郎ハ  
讀ミ得又ニアラズ。書キ得ルモ書カズ。讀ミ得  
ルモ讀マヌナリ。此ニハ先ヅ之ヲ教ヘ後ニ次

課ト比照シテ明ニスベシ。通俗ニハ「ぬ」ヲ以テ  
之ヲ現セドモ「ぬ」ハ連續言ニテ下ニ連續スル  
時又上ノ起ニ應ズル時ノ外ハ用キザル者也。

ジヲカカズ。      ホンヲヨマズ。  
子ヅミヲトラズ。      ミヅヲマカズ。  
トヲアケズ。      マドヲタテズ。  
ガツカウニユカズ。      ザシキヲハカズ。  
ウチヘカヘラズ。      ミチヲトホラズ。



○第二十九課 否定

此ノ課ハ前課ニ次ギテ主ノ爲シ得ザル者ヲ教フルヲ目的トス。二郎ハトダグかけず。二郎ハハヤンダヨメズト云フ時ハ二郎三郎ガ爲サミルニアラズ。爲シ得ザルナリ。  
ジガカケズ。 ホンガヨメズ。  
ガツカウニユケズ。 ザンキガハケズ。  
ミヅガマケズ。 トガアケラレス。  
ウチヘカヘラレス。 ミチガトホラレス。

注意 前課ト此ノ課トヲ比較セバ其ノ差ハ次ノ如シ。前課ニテハオモニをノてハイヲ用井此ノ課ハオモニダヲ用キル。前課ノあ横行ハ此ノ課ニテハ江横行ト爲リ。前課ノ江横行ハ此ノ課ニテあ横行ト爲ル。及ビ前課ノらずハ此ノ課ニられずト爲ル。ナリ。教授ノ際便宜ニ數多ノ詞ヲ教フベシ。

○第三十課 願望

此ノ課ハ下されよ又給ヘヲ添ヘテ造ル者ナ  
リ通俗ニハさいニ轉ゼリ。

カミヲクダサレヨ。

ミヅヲクミテクダサレヨ。

ホシヲヲシヘテクダサレヨ。

エヲカキテクダサレヨ。

イヌヲオビテクダサレヨ。

バウシヲトリテクダサレヨ。

キモノヲヌビデクダサレヨ。

○第三十一課 命令。

命令ト願望ト其ノ源ハ同ジ命令ハ上ヨリ下  
ニ向ヒ願望ハ此ヨリ彼ニ望ミ願フ者ナレバ  
畢竟前後ノ關係ヨリ或ハ命令ト爲リ或ハ願  
望ト爲ルナリ。然レモ吾邦ノ習慣ニテハ上下  
ノ別明ニシテ又他ヲ敬フ風盛ナレバ言語ニ  
モ判然タル區別アリ。又假ヒ上ヨリ下ニ向フ  
時モ下ヲ愛シ敬フ意ヨリ命令語ヲ以テセズ

願望語ヲ以テスルヲ通例トス。サレバ命令ハ  
言語ニハ用キルヲ甚ダ尠シト雖氏文章上ニ  
ハ常ニ用キルナリ。此ニ注意スベキハ命令語  
ハエ横行ノ外ハよヲ添フルヲナリ。

ワレニオクレ。      ホシヲヨメ。

ジヲカケ。      ハヤクハシレ。

キヲツケヨ。      キミハタテ。

ナシヂハスワレ。      シツカニ子ムレ。

○第三十二課 疑問。

疑問ニウトヤトヲ用キル二種アリ。然レ凡通  
俗ノ疑問ハウニテヤヲ用キルモノハ甚尠シ。  
且ヤハ少シク混雜スレバ後ニ至リテ教フル  
ヲ可トス。此ニ注意スベキハ文章語ト云ヘバ  
妄リニヤノ疑問詞ヲ用キルノ大ナル誤ナル  
ヲナリ。試ニ見ヨ吾人平生ノ談話中ニハヤヲ  
以テ疑問ヲ現ハスヲハ甚ダ尠キニアラズヤ。  
サルヲ文章ト云ヘバ殊更ニヤヲ用キテ其ノ

格ヲ誤ルガ如キハ何ゾヤ。  
ツキガミユルカ。コガタナガキルルカ。  
コノエンピツハイクツアルカ。  
キミハサムクハナキカ。  
アナタハアシタウンドウニユキマスカ。  
ワタクシノウチヘアツビニオイデナサレ  
ヌカ。

○第三十三課 數字。

此ノ課ハ專數字ヲ教フル目的ナレバ教師ニ  
適宜ノ斟酌アルベシ。又數字ハ獨リ此課ニ限  
ラズ讀本トノ都合ニ由リ前々課ヨリ始ムル  
モ妨ケナシ。

カキニトミカシ四トアリ。

三ノカキト四ノミカシトアリ。

子ツミ五ビキト子コ六ビキト。

五ビキノ子ツミト六ビキノ子コト。

オトナニシガコトモハニシツレテユク。

二ト三トデハ五。五ト六トデハ十一。  
百ガ十デ千ニナリマス。

○第三十四課 被働

被働ト受働トハ同ジカラスヤんをよむト云  
ヘバヤんハ被働ナラズ受働ナリ働キカケラ  
ル、ニアラズ働ヲ受クル者ナリ。ヤんがよま  
るト云ハヤんハ働ヲ受クルニアラズ働キ  
カケラル、ナリ。此ノ課ハ先ツ受働ヲ教ヘ、其

ノ受働主ハ他ヨリ働ヲ受ケ居ルヲ委シク  
理會セシメ後ニ之ヲ一轉シテ被働文ト爲ス  
トヲ教フベシ。又被働文ニ改ムルニ於テハ左  
ノ變化アルヲ教フベシ。(一)原働主ノ靈辭「ハ  
或ハ」ガ「ヲ」ニ變ズル。(二)受働主ノ靈辭ナル  
を「ヲ」或ハ「ニ」變ズル。(三)原働詞ト受働主  
トノ位置ヲ轉ズベキ。(四)働詞ノ終尾ヲ變シ  
テらるゝる、まる、いる等ト爲ス。是レナリ。  
子コハ子ヅミヲトル。

ねづみいねこよとらる。  
ムマガクルマヲヒク。  
くるまいうまよひらる。  
ヨキヒトハアシキコヲニクム。  
あきこひよきひとよよくまる。  
ヒトガタイコヲタタク。  
たいこがひとよたたる。  
セシセイハヨキコヲホム。  
よきこいせいせのよはあらる。

ニラウハタマヲナク。  
たまひニろうよなげらる。  
ヒヤクシヤウガクサヲカル。  
くさぐひやくまやうよからる。

ヲハリ。

小學作文指南卷之一終

明治廿一年五月四日印刷  
同 年五月四日出版

定價金拾錢

版權登錄

著作者

新潟縣士族

白田山健

東京府翹町區六丁目廿三番地

東京府平民

發行兼  
印刷人

松木平吉

日本橋區吉川町二番地

19  
11  
68

大日本圖書會館

八	三
一	九
號	函
四	架
册	